

## ◎細心の注意のうえルールの徹底と責任をもって冷静な対応を

先週末に壱岐市でコロナウイルス感染者が発生したことは既に報道でお聞き及びかと存じますので詳細は省略しますが、移住者として来島してきた当事者とその関係者のとられた行動は「感染症を広げてはいけない」という冷静かつ的確だったと思います。関係者の二人も検査の結果、陰性が確認されました。

また以下の記事(西日本新聞)もご覧になってください。逆境をプラス志向で乗り越える行いに勇気をもらいました。



ケーキ店の扉をペンキで塗り直すHTBのスタッフ

## 16日に営業再開



新型コロナ

「普段は気付かない汚れもあつて、作業が終わると達成感がある。常連さんに見てもらうのが楽しみ」と営業再開を待ち望む。

休園初日の2月29日。坂口克彦社長は従業員専用サイトにメッセージを送った。「休園をチャンスととらえて、開園する際には、お客さまが驚かれるくらい、変身したい」

# HTB 休園中に進化

新型コロナウイルス感染症の拡大防止で、2月末から休業している佐世保市のハウステンボス(HTB)が16日に営業を再開する。1992年の開園以来初めての長期休業。従業員は働く場所を見つめ直す機会と捉え、「来園者がいないときにしかできないこと」に徹底して取り組んでいる。

(宮崎直二)

「普段は気付かない汚れもあつて、作業が終わると達成感がある。常連さんに見てもらうのが楽しみ」と営業再開を待ち望む。

休園初日の2月29日。坂口克彦社長は従業員専用サイトにメッセージを送った。「休園をチャンスととらえて、開園する際には、お客さまが驚かれるくらい、変身したい」

## 来園者いない今こそ… 研修、清掃を徹底

と「思います」。トップの号令で社を挙げて動きだした。大人数が参加する研修も休園中ならではの。旅行会社出身の若尾政彦取締役運営本部長は、園内バスや運河クルーザーの乗員、アトラクション担当者など約50人に呼び掛けた。「お客さまにとってHTBは特別な場所。街で道を尋ねるときとは違う対応を期待する」。来園者と触れ合う機会が少ないスタッフにも、最上級の接遇を求めた。

園内のレストランは、従業員に特別価格で食事を提供する。食品ロスを抑える狙いもあるが、ウェルカムゲート(入場口)で働く七田のぞみさん(36)は「各店のメニューを知りたい機会。お客さまからの質問に自信を持って答えられるようになる」。普段はできない園内での食事も、従業員にとっては研修の一環だ。

14、15日はHTB歌劇団が従業員向けに公演する。経営企画室の滝本智美さん(35)は「働く私たちが園内を詳しく知ることはとても重要。これまで以上のおもてなしで、お客さまをお迎えしたい」と週明けを見据える。

県も対策本部会議を設置し、具体的には国との連携のなかで、

- (1) 感染拡大防止と医療提供体制の整備
- (2) 学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応
- (3) 事業活動の縮小や雇用の対応に取り組み

特に資金繰り対策として県独自に「**県緊急資金繰り支援資金**」の**限度額を3000万から1億に引き上げます**。(但し借入ですから…同時に県議会から国に対して「金融機関からの貸付金の元金返済猶予の要請とそれに要する財政支援」を求めます) また**低所得世帯支援の「個人向け緊急小口資金等貸付」も予算を追加提案**し実行します。ご意見・ご相談、お困りごとは随時ご遠慮なくご連絡ください。力を合わせこの難局を乗り越えていきましょう。

